

モニタリング結果報告書 (平成28年度)

1. 施設概要

施設名	三浦しらとり園		
所在地	横須賀市長沢4-13-1		
サイトURL	http://www.kanagawa-id.org/seiwa/shisetu/shiratori/		
根拠条例	神奈川県立の知的障害児及び障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条11項に規定する障害者支援施設及び児童福祉法第42条第1項に規定する福祉型障害児入所施設		
指定管理者名	社会福祉法人清和会		
指定期間	H23. 4. 1～H33. 3. 31	施設所管課	障害福祉課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はA評価、利用者の満足度及び収支状況がS評価となったため、3項目評価はS評価となった。</p> <p>今後の対応としては、横須賀・三浦圏域の中核的な施設として、強度行動障害等を有する支援困難な障害児者への支援及び地域移行、加齢児の成人施設への移行に向けた取組み等の役割を果たしてもらいたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>【管理運営等の状況】 在宅で生活している障害児者への地域サービス事業として、短期入所支援(延べ日数3,412日)、日中一時支援(延べ1,260件)を実施し、横須賀・三浦圏域での拠点的な役割と強度行動障害者への支援、措置児童の受け入れ等、県立福祉施設としての役割を果たしている。</p> <p>【利用状況】 入所利用調整、地域移行への取組みを計画的に実施したことにより、利用者数は安定した数値となっている。利用状況の対前年度比が、103.2%となりA評価となった。</p> <p>【利用者の満足度】 重度の知的障害のため、4段階評価による評価は困難であることから利用者家族を対象に満足度調査を実施。上位2段階の回答割合が96.9%となったため、S評価となった。 回収率は58.3%で、昨年度より4.3%増であり、改善傾向である。</p> <p>【収支状況】 当初の見込みより、施設利用者が増え、自立支援給付費の収入が増加したことにより、収支差額は当初予算比プラス277.73%となりS評価となった。</p> <p>【苦情・要望等】 苦情が7件寄せられたが、速やかに謝罪及び再発防止策を講じ、対応を行った。</p> <p>【事故・不祥事等】 ひやりはっと報告書、事故報告書の集計と分析等を行い、事故の未然防止に努めている。</p> <p>【労働環境の確保に係る取組状況】 労働基準監督署より、退職職員1名に対する時間外労働時間に即した賃金を支払っていないこと、賃金台帳に労働時間数を記載していないことのは正勧告を受けた。当該職員に対しては未払分賃金を支払い、勤怠管理システムを導入し、労働時間の把握と台帳への記載ができるよう体制の整備を図った。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
S	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
職員配置、経費削減等の観点からの効率的な施設運営	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き給食調理部門、洗濯部門及び施設管理部門を委託方式として運営を行う。 施設管理については、委託会社による巡回点検を人員、回数とも強化し、施設の営繕、保守の充実を図った。 	
利用者サービスの向上への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 歯科医、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、職員による「摂食嚥下チーム」を編成し、誤嚥性肺炎等の予防とともに利用者の安全な食生活の環境整備・支援方法の改善等に努めた。 強度行動障害事業専任支援員や心理職との連携により、支援の難しい利用者に対する個別支援を行った。 通学支援のためマイクロバスを導入した。 	<ul style="list-style-type: none"> 摂食嚥下チームは今年度「かながわ福祉みらい賞」の団体表彰を受賞した。
診療所の医療水準の維持	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人湘南福祉協会に業務委託し、湘南病院との連携の中で診療所の運営を行っている。週8コマの歯科及び4コマの精神科をはじめ、内科、外科、耳鼻科、脳神経外科、婦人科の診療をおこなう。医師、看護師が常駐し医療水準の維持確保を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に神奈川県末病事業に係るモデル事業として、富士フィルムAG-1（発症初期のウイルス検査機）を試用したところ、その効果が発揮されたことから、活用を開始した。医療と連携することで、早期対応に繋がられた。

施設の生活水準の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のQOLの向上や安全に配慮した環境を整えるため、シャワー室にユニットバスの設置、廊下等をクッション性のある床材に変更、障害特性に配慮した遮蔽性の高いブースの設置、トイレの排水工事など、各セクションで必要な修繕箇所をあげ、園全体での調整や進行管理を行い、計画的に修繕を進めた。 	
地域との連携体制を構築するため、利用者の地域移行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・4月時点で5名いた加齢児のうち2名は成人の入所施設へ移行した。 ・29年度の高等部3年生5人の退所方向については、1名が県外の成人施設への移行、1名が在宅復帰、残る3名は当園での加齢児として継続入所となり、今後、6名の加齢児の地域移行を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に被虐待など養護性が高く、重度児が中心となる加齢児の成人施設への移行は現実的に県内に受入れ先がなく、「地域」とはとても言えない他県の施設に頼らざるを得ない実情であり、「本人の意思の尊重」の観点から大きな課題と言える。

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
相談支援事業	平成28年6月より法人内の「鎌倉やまなみ相談支援事業所」と連携し、計画相談契約者の地域性に基ついた移管を進めてきたことで、より本人や家族に寄り添った相談支援体制が整いつつある。契約者数は29年3月末時点で120名（内児童1名）である。

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	41,271	41,844	43,182
対前年度比		101.4%	103.2%
目標値	成人(88名) 児童(40名)	成人(88名) 児童(40名)	成人(88名) 児童(40名)
目標達成率			

目標値の設定根拠： 社会福祉入所施設であり目標値の設定が困難であるため、施設入所、障害児入所施設の定員数を記載

利用者数の算出方法（対象）： 入所児者の延べ人数

[参考：最大利用可能人数／年]

	施設入所(成人)	障害児入所	生活介護	自立訓練		合計
定員	88	40	95	6		
年間利用可能日数	365	365	269	269		
最大人数※	32,120	14,600	25,555	1,614	0	73,889
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易調査、定期調査の実施	利用者家族に対し、満足度調査を実施。概ね満足との評価を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 当園でご利用者が生活されていることについて、ご家族として満足されていますか。

実施した調査の配布方法 直接配付 回収数／配布数 98 / 168 = 58.3%

配布(サンプル)対象 施設利用児者の家族

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	95			3	98	・食事面について、よくして頂き、感謝しています。
回答率	96.9%			3.1%		
前年度の回答数	65			3	68	
前年度回答率	95.6%			4.4%		
回答率の対前年度比	101.4%	#VALUE!	#VALUE!	69.4%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 職員はご利用者の気持ちをくみ取って支援をしていると思いますか。

実施した調査の配布方法 直接配付 回収数/配布数 98 / 168 = 58.3%

配布(サンプル)対象 施設利用児者の家族

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	81			2	83	・本人及び家族のために気配りしていただき、ありがとうございます。
回答率	97.6%			2.4%		
前年度の 回答数	67			1	68	
前年度回答率	98.5%			1.5%		
回答率の 対前年度比	99.0%	#VALUE!	#VALUE!	163.9%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：プラスの施設が該当 収支差額の決算額/収支差額の当初予算額の比率が S (優良)：105%以上 A (良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C (収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況 支出	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の内訳			収支差額	収支差額の決算額 /収支差額の当初 予算額
前々 年度	当初 予算	592,573	597,072	2,210		1,191,855	1,176,461	15,394	
	決算	581,959	635,125	4,668		1,221,752	1,196,758	24,994	162.36%
前 年度	当初 予算	581,959	627,152	0		1,209,111	1,197,760	11,351	
	決算	581,959	656,384	10,114		1,248,457	1,255,009	-6,552	-57.72%
28 年度	当初 予算	581,959	645,367	4,252	備考欄参照	1,231,578	1,212,845	18,733	
	決算	581,959	723,540	8,006	備考欄参照	1,313,505	1,261,478	52,027	277.73%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

28年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考> その他収入の内訳

○28年度

当初予算

・退職給与引当金取崩収入 720
・利用者等外給食費収入他雑収入 3,532

決算

・退職給与引当金取崩収入 5,103
・利用者等外給食費収入他雑収入 2,903

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所管工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
2017年1月	441	車いす使用者用駐車区画改修工事
2017年3月	479	火災通報装置改修工事

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： _____ 千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出	15,463	勤怠管理システム5,035、マイクロバス5,897他
積立	40,000	修繕：10,000、建築：30,000

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応	電話	2 件	①利用者の母親から担当職員の言動や対応について苦情	①上司が当該職員と面接、担当を変更した。
	対面	2 件	②短期利用者の家族から寒い中、夏物の上着で外出させていた。服装の配慮が足りない。との指摘	②訴えの通りであり、配慮にかけていた点を謝罪、今後についても対応策を検討することを伝えた。
事業内容		件		
		件		
その他	電話	2 件	①退職職員の家族より残業代が支払われていないとの訴え	①横須賀労働基準監督署の事情聴取の結果、タイムカードの記録と超勤申請書の時間に差があり、実態に合った超勤手当が支払われていないとの判断が示された。不足分の支払いを行い、今後の改善策を進めることとした。
	文書	1 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
4月25日	①午前11時に利用者の右手第4指の痣を発見する。外部受診後骨折（ひび）と診断された。原因は歯科治療の際に車椅子からずり落ちた可能性（現認はできていない）。 ②なし ③ギプス固定の治療により完治。歯科受診の際は医師の指示のもと付添職員が支援する。 ④なし。 ⑤現認はできていないが、歯科治療の際に車椅子からずり落ちた可能性があり、歯科治療の際に本人を支える体制が整っていなかったことが原因と考えられる。 ⑥なし
6月23日	①午前5時30分に、利用者が廊下を走り転倒し、右手を床につく。翌日に支援員が右手甲の腫れに気づき、受診したところ右第4指及び第5指の第2関節付近の骨折と診断された。 ②なし ③ギプス固定はせずに、そのまま様子観察となる。すでに完治している。本人の突発的な行動に対応できる立ち位置での更衣を徹底する。 ④なし ⑤原因は支援員が利用者の排便処理の更衣を廊下で行おうとしたため。 ⑥なし
7月4日	①午前10時30分に、日中活動の園外歩行の際に利用者が所在不明となった。10分後に捜索していた職員が発見した。 ②なし ③その後、本人に著変はない。園外歩行時の職員の役割分担を明確にする。 ④なし ⑤原因は支援員2人体制での園外歩行であり、役割分担及び連携が不十分であったため。 ⑥なし

8月5日	<p>①午後2時に利用者本人より右足の痛みの訴えがあり、外部受診をした結果、右第4趾の骨折と診断を受ける。</p> <p>②なし</p> <p>③テーピング固定の治療によりすでに完治している。情緒不安定の際にはベッドやタンスを蹴る自傷があるため、本人の情緒の変化を注意深く見守り、適切な支援を行っていく。</p> <p>④なし</p> <p>⑤原因は利用者の情緒不安による自傷行為。（壁を蹴る等）</p> <p>⑥なし</p>
8月7日	<p>①午前8時40分に利用者本人より足の痛みの訴えがあり、外部受診をした結果、左大腿骨転子部骨折との診断を受ける。</p> <p>②骨折の事故が続いているため、注意喚起を図るよう所管課より指導する。</p> <p>③8月9日に手術をし、その後は回復し完治した。現在は当園で生活している。支援員による居室での見守りの強化を図った。</p> <p>④なし</p> <p>⑤本人は「転んだ」と話しており、居室で転倒をしたものと思われる。</p> <p>⑥なし</p>
11月16日	<p>①施設入所利用者が日中活動中に活動室を歩いていたところ、他利用者の足に躓き転倒し、床に顔面を強打した。当園診療所に受診し、上唇の裂傷と診断され10針縫合した。</p> <p>②なし</p> <p>③バイタル等異常なく、通常生活を送る。活動室の各利用者の障害特性、移動時のポイント等を確認し、環境面の調整を行う。</p> <p>④なし。</p> <p>⑤活動グループの利用者人数が増え、活動する環境（利用者の座る席等）を調整していた中で事故が発生してしまった。各利用者の障害特性、移動時のポイント等を確認し、環境面の調整を行う。</p> <p>⑥なし</p>

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	有	労働基準監督署より退職職員1名に対し、実働時間に即した時間外労働賃金を支払っていないこと、賃金台帳に労働時間数を記載していないことの是正勧告を受けた。当該職員に対しては未払分賃金を支払い、勤怠管理システムを導入し、労働時間の把握と台帳への記載ができるよう体制の整備を図った。
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。